



2022年11月10日

会社名 **株式会社 アールシーコア**
 (コード番号 7837) (<http://www.rccore.co.jp/>)
 代表者名 代表取締役社長 二木 浩三
 問合せ先 経理・財務責任者 河村 隆之
 電話番号 03-5790-6500

通期連結業績予想及び配当予想の修正、役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会の決議により、2022年5月13日に公表した通期連結業績予想等を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年5月13日公表)	18,700	260	180	110	26円09銭
今回修正予想(B)	14,700	△760	△820	△1,240	△293円88銭
増減額(B-A)	△4,000	△1,020	△1,000	△1,350	
増減率(%)	△21.4	—	—	—	
(ご参考)前年度実績 (2022年3月期)	16,341	△336	△362	△436	△103円79銭

(2) 修正の理由

コロナ禍の影響による展示場集客数の減少と原材料価格の高止まりが続くなか、当社を取り巻く事業環境は依然厳しい状況にあります。これに対応するため、今期は集客増への新たな取組み、販売価格の改定、契約工期の短縮等、収益力の回復に向けた施策を講じることで、通期業績を黒字と予想しておりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間までの来場者数は当初予測を下回り、更には価格改定による収益率の改善はみられたものの、特に主力商品の価格帯と従来の顧客層の予算とのミスマッチが生じたことにより、受注低迷を招く結果となりました。

これにより売上高、売上総利益が大きく落ち込むことが見込まれるため、通期連結業績予想を前回発表予想の黒字から赤字へ修正するに至りました。

これに伴い当社の財務状況が悪化しており、財務体質の強化とともにBESS事業の受注回復を図ることが喫緊の課題となっております。

については、以下の「経営基盤強化策」及び「事業改善策」を実行することといたします。一連の施策による改善効果及び実施に伴う費用につきましては、特別損益等にて見込んでおります。

■経営基盤強化策

1) 固定費の削減

①人件費の削減 …本日公表の「希望退職者募集に関するお知らせ」のとおり
25名（正社員の約15%）の希望退職者を募集するものです。
来期以降の影響…▲200百万円の人件費削減

②本社オフィスの移転…規模の縮小、賃料の削減
来期以降の影響…▲100百万円の固定費削減

③不採算拠点の閉鎖 …子会社含む営業拠点の閉鎖
来期以降の影響…▲200百万円の固定費削減

※統廃合拠点・時期・費用等については、詳細を決定後、公表いたします。

これら及びその他の取り組みにより、来期以降▲700百万円の固定費削減の見通しです。ただし、当連結会計年度におきましては、費用の発生が見込まれるため、特別損失等として▲420百万円を見込んでおります。

2) その他の財務強化策

保有不動産の活用による財務体質の強化

※具体的な取引内容については決定後、速やかに公表いたします。尚、この効果につきましては、取引詳細が未定のため、保守的観点から見込んでおりません。

■事業改善策

主力事業であるBESS事業においては、キャンペーン商品の投入により販売価格帯を拡大し、従来の顧客層との予算のミスマッチ解消を図ります。設計仕様見直しによるコストダウン及び地区販社との取引条件の改定により、収益力を確保しつつ販売価格の引下げを実現し、早期の受注回復を図ります。

併せて当期より受注が本格化しておりますBtoB市場における木造商業施設等の建設・販売事業を更に強化し、新たな収益の柱として拡大します。

■中期経営計画への影響

当期は2020年5月27日に公表しました中期経営3か年計画の最終年度となります。

2021年5月18日に修正をいたしました当計画における「連結売上高200億円、連結営業利益率5%」の目標については、未達成となる予測です。

2. 配当予想の修正について

(1) 2023年3月期配当予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		未定	未定
今 回 修 正 予 想		0円00銭	0円00銭
当 期 実 績	0円00銭		
前 期 実 績 (2022年3月期)	15円00銭	0円00銭	15円00銭

(2) 修正の理由

2022年5月13日の決算短信公表におきましては、事業の状況を鑑み、中間は無配、期末は未定と公表いたしましたが、財務状況の悪化、業績低迷の状況から、誠に遺憾ながら期末も無配とさせていただきます。

株主の皆様には、深くお詫び申し上げます。

3. 役員報酬の減額について

今回の業績予想・配当予想の修正に伴い、経営責任を明らかにするため、以下のとおり取締役の報酬を減額することといたします。

- ・ 社内取締役 既に実施中の措置を含め基準月俸の20～15%減額（2022年11月～2023年3月）
- ・ 社外取締役 基準月俸の5%減額（同上）

【留意事項】

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上